



ダイヤモンド
シティ
小美玉
見つける。
みがく。
光をあてる。

もっと小美玉を語りたくなるマガジン

2023年
April

4

広報

おみ
たま

第205号

contents

[特集] 令和5年度施政方針	2-7
わだい	8-11
TOPICS	12-14
4コマ小美玉暮らし	16



新時代を

切り開く

令和5年度施政方針

令和5年度

施政方針

3月定例議会で島田幸三市長が示した
本年度の施政方針の概要を紹介します。

令和5年度は、小美玉新
時代に向けて、5年、10年

変革の出発点

その中で地域の活力を維持し選ばれるまちになるためには、生活の安全・安心の基礎をしっかりと築き、その土台の上に市の個性や資源を生かし、存在価値を高める施策の推進が重要です。

世界を取り巻く環境は歴史的な転換点を迎えています。ウクライナ侵攻や国際社会の分断、エネルギー危機、物価高、少子高齢化など、さまざまな要因が絡み合い私たちの生活にのしかかっています。

選ばれるまちになるため



市政運営における3つの基本的な考え方

1 新型コロナウイルス感染症との共存社会の形成

市民の健康を守り、地域の経済を支え、さらに上昇させるためには、適切な感染症対策を進め、今後も変化を続けている人々の働き方、暮らし方に柔軟に対応していかなければなりません。新型コロナウイルス感染症と共存する社会を目指して、地域経済の活性化、次代を担う子どもたちが健全に成長する学校教育の環境づくり、住みやすい地域づくりを進めるための地域コミュニティ、各種団体活動への支援など市民目線に立った取り組みを進めていきます。

2 行政のデジタル化の加速

行政手続きのオンライン化を推進し、市民の皆さまが市役所に出向いて行っていた煩雑な手続きや、行政のペーパーワークなどのアナログ処理に費やしてきた労力と時間を削減し、利便性の高い市民サービスの提供や行政事務の効率化・迅速化を進めて行く必要があります。そのために、「小美玉市DX推進計画実施計画」に基づく施策を着実に進めるとともに、スマホなどのデジタル機器の使い方不安を感じている方にスマホ教室などを実施してまいります。

3 健全で持続可能な財政基盤の構築

生産年齢世代の減少が進むことなどから、歳入額の根幹となる市税の大幅な増加が見込めない一方、社会保障費などの義務的経費の歳出が増加しており、市の予算は歳出超過の傾向にあります。歳入においては、ふるさと納税による財源確保と返礼品に使われる地場産品の育成強化を進め、財源強化と地場産業育成の好循環を作っています。歳出については、新たに第三者の視点による事務事業点検評価を実施し、事業の「選択と集中」を進め、効果的かつ合理的な行政経営に取り組んでまいります。

今月の表紙



玉里地区を通るつくば霞ヶ浦りんりんロードは、サイクリストに人気の自転車コース。春には桜と菜の花を一緒に楽しめます。自転車で走り出そうとヘルメットを着ける島田市長の姿を撮影しました。

先を見据えた大きな変革の出発点に当たる、大事な年だと考えています。

そのために、教育、農業、福祉、地域防災、商工観光のそれぞれの重点施策を具体的な事業で着実に進めます。また、行政のDXの推進によって、行政サービスや手続きが便利になつたと実感できる基盤整備、企業版ふるさと納税を活用した新たな財源確保など、行財政改革の取り組みを進めていきます。

新時代を切り開くために

これら为先導するためには、時代の変化に対応した組織編成と人事配置が必要です。そのために、市長公室に企画政策部門、シタイププロモーション部門、ふるさと納税部門を置き、政策、情報発信、財源確保を進めます。また、市民生活部に市民協働課と防災管理課を置き、地域のコミュニケーション活動の活性化と防災・防犯力の強化を連携して進めます。

さらには国道6号小美玉

道路の早期実現や霞ヶ浦二橋建設の推進、2万3千人もの署名が集まったつくばエクスプレスの茨城空港延伸など、中長期ビジョンの実現のため、関係機関へ働きかけを粘り強く行います。新たな時代を切り開くために、一歩一歩前進してまいります。

何事もまずは第一歩

幕末の幕臣で、後に初代茨城県知事になった山岡鉄舟が「一歩一歩いつか昇らん富士の山」という言葉を残しております。

「何事もまずは第一歩が肝要、そうすればいつか頂上にたどり着ける」という意味です。

市の未来を築いていけるのは、今この世界に生きる私たちです。市民、議会、職員が一丸となって、一歩一歩前進することができれば、これ程心強いことはありません。皆さまにより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

小美玉市第2次総合計画 5つの基本目標に基づく主要施策



基本目標

みんなの力で磨くまちづくり

- ▶ 市民協働・コミュニティ活動の推進
- ▶ 効率的な行財政の運営
- ▶ 人権の尊重・男女共同参画社会の推進
- ▶ 戦略的な定住・人口対策の推進
- ▶ 開かれた行政・多様な交流の推進
- ▶ 情報発信によるシタイププロモーション



基本目標

人を育てる学びの場づくり

- ▶ 子ども・子育て支援の充実
- ▶ 文化芸術の創造・発信
- ▶ 学校教育の充実
- ▶ スポーツの推進
- ▶ 生涯学習の充実



基本目標

誰もがいきいきと暮らせる社会づくり

- ▶ 健康づくりの推進
- ▶ 高齢者福祉の充実
- ▶ 地域医療の充実
- ▶ 障がい福祉の充実
- ▶ 地域福祉・社会保障の充実



基本目標

仕事と暮らしを創造する環境づくり

- ▶ 保全的土地利用の推進
- ▶ 茨城空港の利活用
- ▶ 道路環境・公共交通の充実
- ▶ 農業の振興
- ▶ 公園・緑地・水辺の整備
- ▶ 商業・工業の振興・企業誘致の推進
- ▶ 住環境・景観形成
- ▶ 観光の振興



基本目標

安全・安心な生活を支える体制づくり

- ▶ 自然・地球環境の保全
- ▶ 防災対策の充実
- ▶ 循環型社会の形成
- ▶ 消防・救急体制の充実
- ▶ 基地対策の充実
- ▶ 交通安全・生活安全対策の充実
- ▶ 上下水道の整備

※ 主要施策の詳細は5ページをご覧ください

問 政策企画課 政策推進係 ☎0299-48-1111(内線1231)

施政方針の全文を読む



予算

予算編成

市の1年間のお金の使い方をまとめた「令和5年度予算」が決まりました。持続可能な健全財政を念頭に置きつつも、5つの重点施策を具体的な事業として着実に進め、第2次総合計画の基本目標に関連した事業を中心とする予算編成です。

予算総額

371億2,049万円

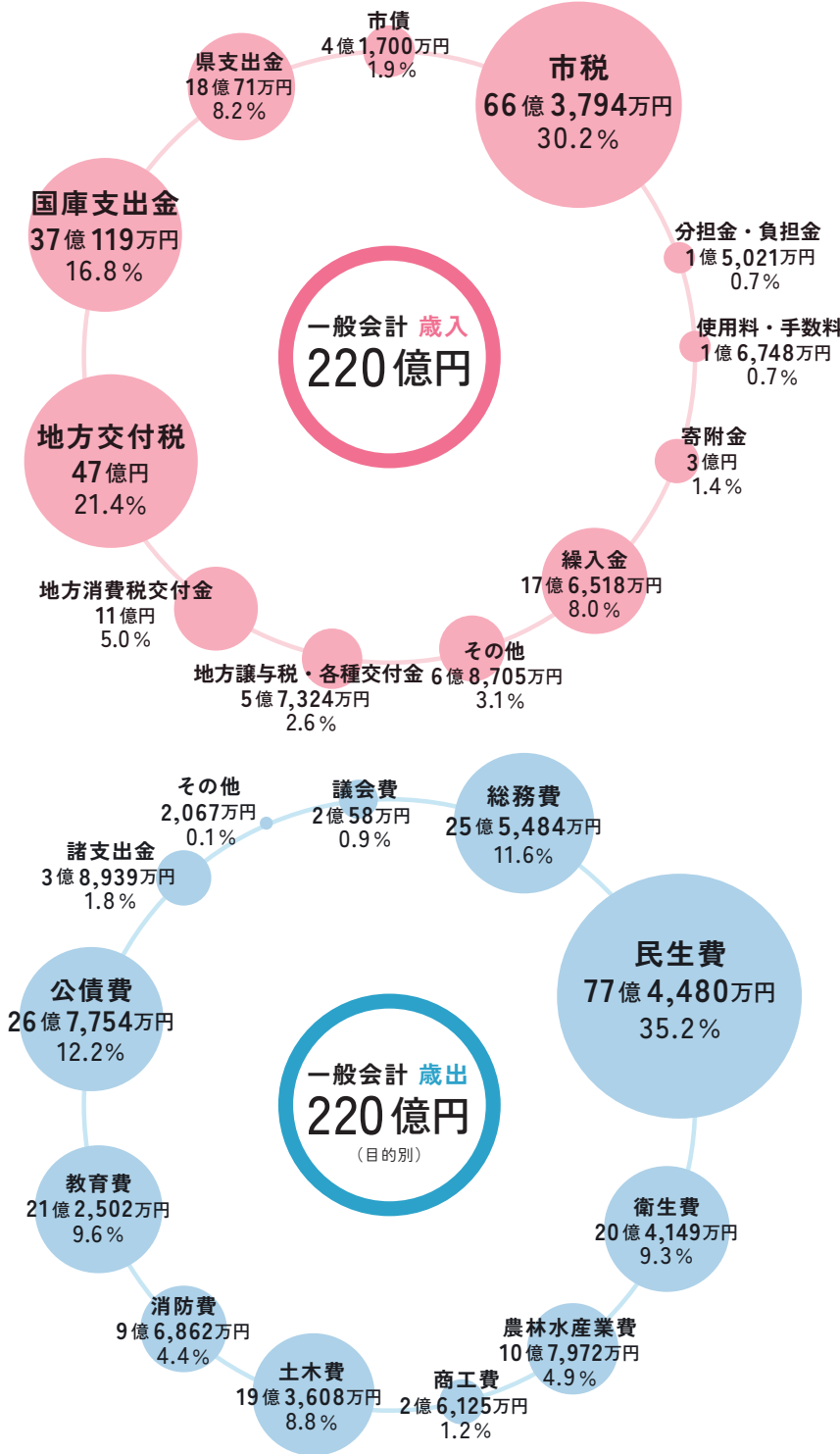
(前年度比4.0% ↑)

内訳

一般会計：**220億円**
(前年度比3.8% ↑)

特別会計：**104億433万円**
(前年度比1.0% ↑)

企業会計：**47億1,616万円**
(前年度比12.7% ↑)



特別会計・企業会計予算

会計名	予算額	前年比	
一般会計	220億円	3.8% ↑	
特別	国民健康保険	52億4,185万円	0.0% →
	後期高齢者医療保険	6億8,958万円	8.8% ↑
	農業集落排水事業	3億2,107万円	0.3% ↓
	戸別浄化槽事業	1億2,776万円	198.4% ↑
	霊園事業	1,501万円	61.3% ↓
	介護保険(保険事業)	40億116万円	0.5% ↓
	介護保険(介護サービス)	790万円	4.2% ↑
企業	水道事業	18億8,327万円	4.6% ↑
	下水道事業	28億3,289万円	18.8% ↑
合計	371億2,049万円	4.0% ↑	

一般会計歳出 性質別内訳



主な事業



基本目標



1 みんなの力で磨くまちづくり

ふるさと寄附金事業 1億6,499万円

ふるさと納税係を専任で設置し、ふるさと納税の増額と市の更なる知名度向上を図ります。

結婚を希望する若者の支援 33万円

結婚を希望する男女の出会いの場づくりを支援するため、いばらき出会いサポートセンター入会登録料の補助を行います。

その他の主な事業

- ▶ web口座振替受付サービスの拡充／228万円
- ▶ 分庁舎建設設計／1,804万円
- ▶ 国際交流活動／90万円
- ▶ 移住推進／1,600万円



基本目標



2 人を育てる学びの場づくり

乳児用紙おむつ購入費用の一部助成 463万円

新生児の生まれた世帯に対し、紙おむつ購入費の助成を行い、経済的な負担軽減を図ります。

地域学校協働活動の推進 800万円

コミュニティスクールと地域学校協働活動を一体的に推進するため、社会教育主事とコーディネーターを配置します。

その他の主な事業

- ▶ 新入学児童用ランドセル購入／756万円
- ▶ 小中学校情報教育関係経費／7,493万円
- ▶ 家庭教育支援の推進／77万円
- ▶ 公共ホール予約受付システムの導入／281万円



基本目標



3 誰もがいきいきと暮らせる社会づくり

带状疱疹予防接種費用の一部助成 146万円

带状疱疹の発症予防・重症化予防を図るため、予防接種費用の一部助成を行います。

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施 1,888万円

フレイル予防のための施策を総合的に推進し、健康寿命の延伸を目指します。

その他の主な事業

- ▶ 障がい者計画などの策定／204万円
- ▶ 高齢者福祉計画などの策定／429万円
- ▶ 低所得妊婦の初回産科受診料の一部助成／5万円



基本目標



4 仕事と暮らしを創造する環境づくり

農産物等のブランド化・販路拡大 90万円

「小美玉市農産物等ブランド化推進協議会」を設立し、ブランド化の検討を進めます。

おみたま花火大会(仮称)の開催 1,300万円

大井戸湖岸公園周辺をメイン会場として、霞ヶ浦の湖上で花火を打ち上げ、新たな魅力を創出します。

その他の主な事業

- ▶ 道路橋梁維持管理事業／2億7,157万円
- ▶ 空き家対策の推進／470万円



基本目標



5 安全・安心な生活を支える体制づくり

防災対策の充実 35万円

地域防災活動の担い手として防災士資格の新規取得を推進し、防災意識の普及啓発を行います。

交通安全・生活安全対策の充実 1,763万円

行政区の防犯灯の維持管理や街灯防犯カメラの設置を行い、防犯環境の整備を支援します。

その他の主な事業

- ▶ 地球温暖化対策実行計画策定／526万円
- ▶ 基地対策事務費／5,833万円
- ▶ 地域防災計画の改訂／636万円
- ▶ 幼稚園児用防災ヘルメットの購入／77万円

問 財政課 財政係 ☎0299-48-1111(内線1243・1244)

詳細は市ホームページを
ご覧ください



令和5年度

人事配置

異動者・退職者

令和5年4月1日現在

異動者

部長級・課長級

市長公室

市長公室長

藤田 誠一

秘書課長

安彦 晴美

政策企画課長

植田 賢一

魅力発信課長

林 美佐

総務部

総務課長

島田 視一

人事課長

高野 雄司

財務部

財務部長

中村 均

財政課長

高橋 宏

税務課長

大野 和成

市民生活部

市民生活部長

長谷川 勝彦

市民協働課長

比気 龍司

市民課長

山口 恵一

環境課長

中野 谷勲

防災管理課長

秋元 久夫

小川総合窓口課長

木村 知恵子

玉里総合窓口課長

菊田 裕子

保健衛生部

保健衛生部長

菅谷 清美

健康増進課長

太田 由美江

福祉部

福祉部長 兼福祉事務所長

佐々木 浩

介護福祉課長

小川 和夫

地域包括支援センター長

大山 伸一

子ども課長

長沼 光子

産業経済部

産業経済部長

倉田 賢吾

商工観光課長

佐川 光

商工観光課参事

尾形 健

都市建設部

都市建設部長

原 伸行

都市整備課長

朝比奈 公俊

道路建設課長

長島 正昭

下水道課長

藤田 信一

文化スポーツ振興部

スポーツ推進課長

関川 克己

会計課

会計管理者

鈴木 定男

教育委員会

教育企画課長

大原 光浩

議会議務局

議会議務局次長

須賀田 千恵子

農業委員会

農業委員会事務局局長

鈴木 和広

監査委員事務局

監査委員事務局局長

酒井 美智子

水道局

水道局長

矢口 正信

消防本部

消防本部消防長

井坂 茂樹

消防本部次長 兼消防本部総務課長

鮎沢 勝

消防本部警防課長

野口 敏永

消防本部予防課長

島田 和彦

消防本部美野里消防署長

大堤 勝憲

消防本部玉里消防署長

菊池 幸雄

退職者

令和4年3月31日付

一般行政職

倉田 増夫

大川 訓

織田 俊彦

岩田 憲治

小澤 喜蔵

長谷川 純一

石井 光一

倉田 俊彦

小貫 智子

消防職



棚一枚でもお気軽にどうぞ!

株式会社

笹光建設

〒311-3416 茨城県小美玉市与沢253-37
TEL 0299-54-0618 FAX 0299-54-0421

www.sasamitsu.co.jp/

ささみつ

検索

新築/増改築/小さなリフォームなど

畳は最高の床材です!

税込価格



国産畳表替

7,700円~

アミ戸張替

大サイズ
2,300円

障子張替

厚口紙 大サイズ
2,860円

襖貼替

2,750円~

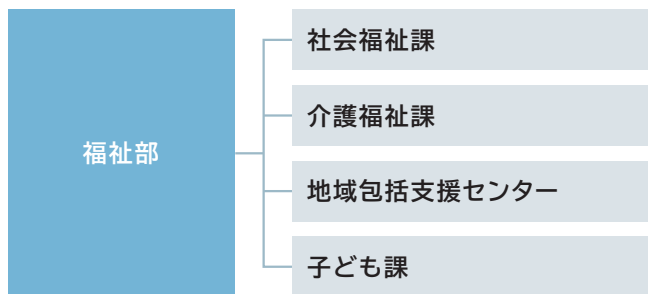
私がお伺い
します

相川畳店

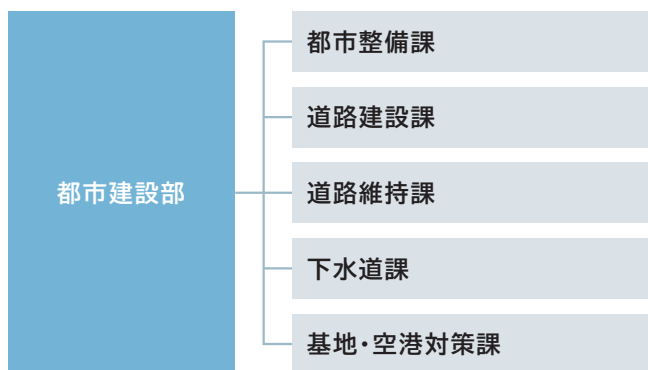
0299(26)0669
石岡市旭台 1-15-1

組織改編

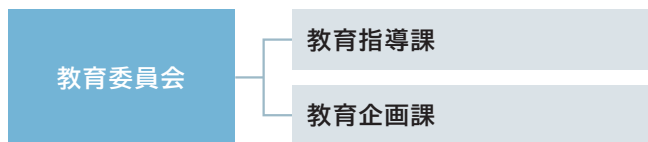
簡素で効率的な
行政組織とするため、
組織を一部改編します。



福祉事務所内の連携強化のため、「福祉部 福祉事務所小川支所」「福祉部 福祉事務所美野里支所」を「社会福祉課 小川福祉係」「社会福祉課 美野里福祉係」として社会福祉課に移管します。また地域包括支援センター体制の強化のため、「地域包括支援センター」を係から課へ昇格します。

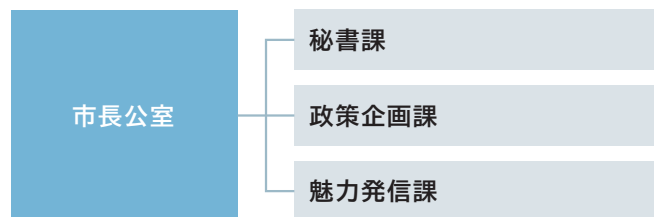


基地と空港対策業務をまとめるため、「商工観光課 空港係」を「都市建設部 基地対策課」へ移管し、「都市建設部 基地・空港対策課」とします。

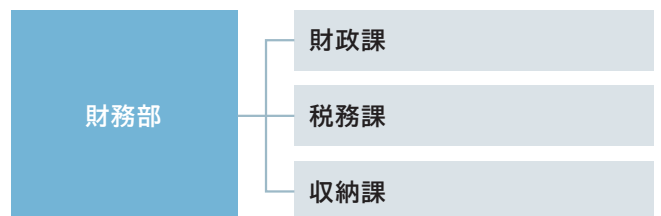
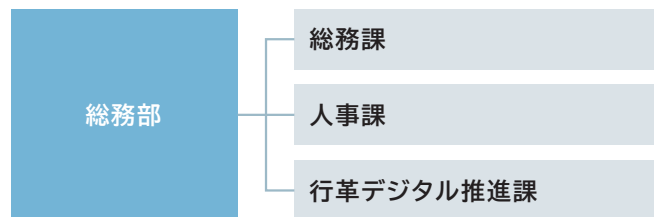


国の子ども家庭庁の動向に対応するため、「子ども課」を「福祉部」へ移管します。

組織図全体を見る



市長の政策の研究や実現の推進力強化のため、政策部門と企画調整部門を統合した「政策企画課」を創設します。また、市の魅力発信強化のため、「企画調整課 シティプロモーション係」を「市長公室 魅力発信課」とし、シティプロモーション・ふるさと納税を強化します。



予算と財産を一体化して管理するため、関連の強い分野をまとめます。企画財政部から移管する「財政課」と、総務部から移管する「税務課」「収納課」で構成される「財務部」を創設します。



市民の皆さんとの相互連携と協調を図るため、「市民協働課」「防災管理課」を市民生活部へ移管します。また、防災管理課のみで構成されていた「副市長直轄組織」を廃止します。

問 人事課 人事係 ☎0299-48-1111(内線1286)